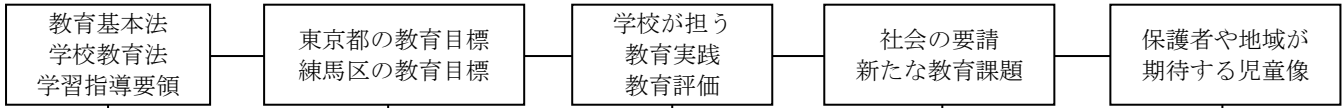


# <学力向上を図るための全体計画>



**本校の教育目標**

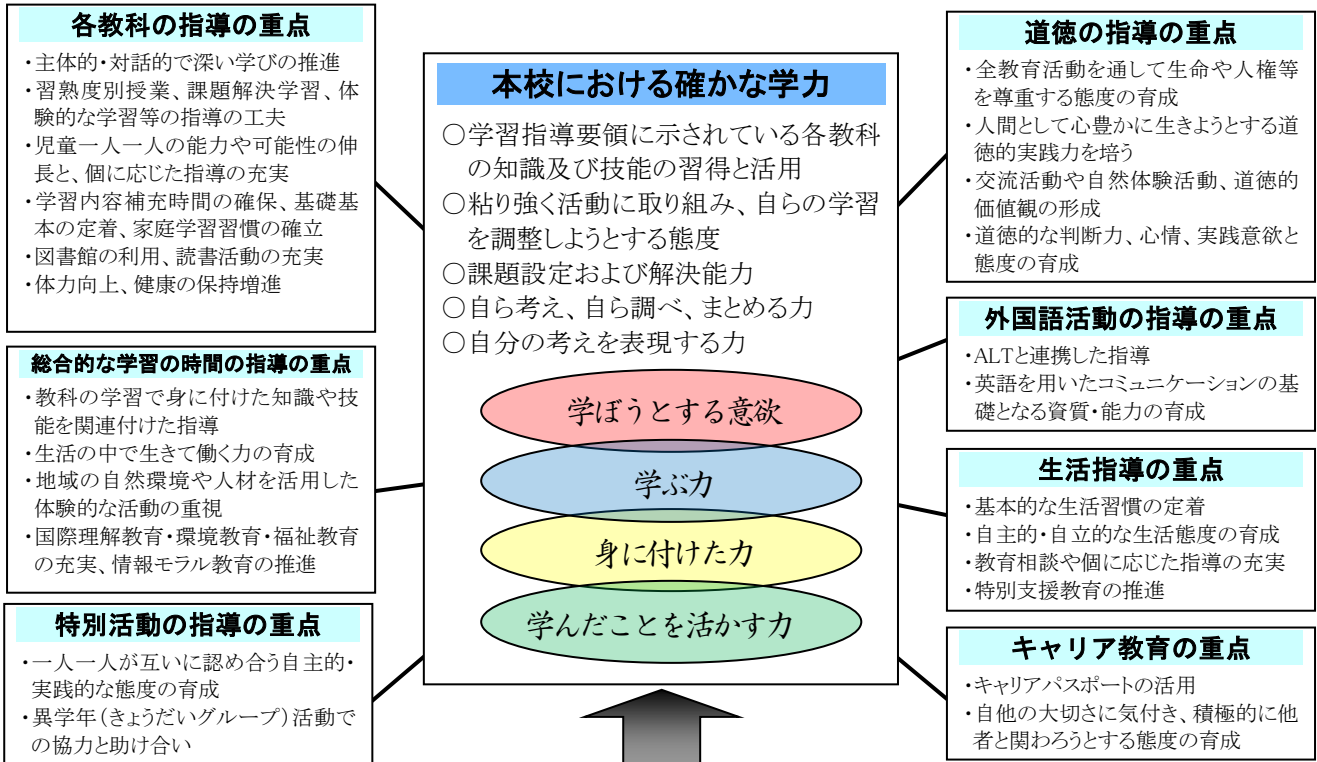
「知・徳・体」の調和のとれた人間性豊かな児童の育成を目指し、人と自然を大切にする  
○元気な子 ○考える子 ○仲よくする子

今年度の学校経営計画

〔中期経営目標〕：6年間の系統性を踏まえた授業実践により、基礎的・基本的な学力の定着を図るとともに、指導方法および評価の改善を図る。

- 〔今年度の目標〕
- ①授業研究を通して、教員の授業力の向上を図る。
  - ②基礎的・基本的な学力の確実な定着・伸長を推進する。また、言語活動を指導に位置付けるとともに、各教科・領域で培った知識・技能を「生活科」「総合的な学習の時間」等に活用する。
  - ③新型コロナウイルス感染症への対策を図りながら、指導計画の作成や学習活動の工夫を行う。

- 〔具体的な方策〕
- ①年間指導計画に基づいた計画的な学習指導
    - ②OJTと連動した授業公開の日常化
    - ③指導と評価の一体化（授業・単元のゴールを明確にした指導）
    - ④ICT活用の充実（校内研究によるICTを活用した指導の研究と、校内体制の整備）
    - ⑤学習規律、基本的な生活習慣の指導の徹底
    - ⑥読み・書き・計算の反復練習を中心とした家庭学習（学年×10分）
    - ⑦道徳教育全体計画に基づく実施と評価
    - ⑧「授業改善推進プラン」に基づく授業実践と各教科・領域の指導・評価計画の定期的な修正



**本校の授業改善に向けた視点**

指導方法の工夫	教育課程編成上の工夫	研究や研修の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫	幼保小連携・小中一貫教育の重点
<ul style="list-style-type: none"> <li>・算数科における習熟度別指導による基礎・基本的な学習内容の定着</li> <li>・個に応じた指導の工夫</li> <li>・学力向上支援講師の活用</li> <li>・1時間一工夫の教科指導</li> <li>・授業のまとめを明確にした授業づくり</li> <li>・ALTの活用</li> <li>・ICTの効果的な活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行事の精選</li> <li>・時間割の工夫による授業時数の確保</li> <li>・朝学習の実施</li> <li>・読書時間の設定</li> <li>・新型コロナウイルス感染症への対策を踏まえた指導計画の作成</li> <li>・教科担任制による指導の充実と効率化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「主体的・対話的で深い学びの実現～使おうICT! 深めよう学び!～」を主題とした校内研究の推進</li> <li>・外部の研修への参加、情報の共有</li> <li>・OJTの計画的推進</li> <li>・全教員による授業公開</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力調査等を用いた児童の実態調査と指導の改善</li> <li>・教科等の評価計画の改訂</li> <li>・児童による授業診断の実施と活用</li> <li>・保護者や学校評議員による評価の活用</li> <li>・PDCAによる指導の振り返りと改善</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育関係機関との連携</li> <li>・地域を活用した体験的な活動の場</li> <li>・社会福祉施設や幼稚園等との連携</li> <li>・学校評議員の授業参観および諮問</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣幼稚園、保育園との交流</li> <li>・大泉西中学校区での研究(課題改善カリキュラム、教育課程)</li> <li>・教師間の相互交流を通じた児童の実態把握と系統的な学習指導、生活指導の充実</li> </ul>

検証方法…教員の自己評価の実施(年2回)、児童・保護者による学校評価(年1回)の実施、授業中の行動や発言の観察、ノートやプリント・学習カードの記述、作文・新聞などの作品や実技の様子、ワークテストや小テストの結果を見取る。